

# Future Challenge Project 2022

～プロスポーツ発! 誰もが共に暮らし続けられるまちづくりを目指し挑戦する活動～

団体名 ● 地域スポーツマネジメント研究室、新谷研究室 / 代表者名 ● 西村貴之(人間科学部スポーツ学科・教授)

## はじめに

日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)は「世界でいちばん地域を愛するプロサッカーリーグになりたい」をコンセプトに、Jリーグ社会連携活動(通称「シャレン!」)の取組みを推進している。「シャレン!」は社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に地域住民、企業や団体、自治体、学校などとJクラブが連携して取り組む活動である(Jリーグwebサイトより)。

本研究室では、石川県をホームタウンとするJクラブ「ツエーゲン金沢」との共同により、2020年度より「シャレン!」の取組みに参画している。

2022年度は、サッカーを通じ、障害のあるなしに関わらず誰もが共に暮らし続けられるまちづくりを目指し挑戦する活動「Future Challenge Project2022」の実行委員会メンバーとして、地域スポーツマネジメント研究室、新谷研究室が参画した。2021年度からスタートした「視覚障害者向けのサッカー観戦会を開催する」という試みにおいて主催者、視覚障害者、サポーターの3者がさらなる挑戦をすることで、相互理解を深め、「お互い様」があふれるまちづくりを目指すこととした。

## 活動内容

日程: 2022年10月2日(日) 明治安田生命J2リーグ

第39節 vs ファジアーノ岡山戦

場所: 石川県西部緑地公園陸上競技場

参加: 本学学生29名

実行委員会メンバー/協力者約15名

内容: ①視覚障害者の方向けサッカー観戦会

②PlatCastでの実況・解説サービス配信

③応援/啓発グッズ(ハリセン)プレゼント

④ブラインドサッカー体験会

⑤視覚障害者についての啓発ブース

以上の企画に関して、ゼミ内のプロジェクト担当学生が中心となり、実行委員会の一員として準備段階から参画した。当事者である視覚障害者の方々

への事前ヒアリング、ブラインドサッカー体験、介添え研修などを学生主導で実施し、障害についての事前理解を行なった上で、企画当日に向けた連絡調整、関係機関・団体への依頼交渉、当日参加学生の統括などのマネジメント業務に携わった。(活動の全容については右記QRコードから、6分程度の動画にて参照頂きたい。)



試合観戦会の様子

## 成果、結果の考察

2022年度の取組みでは、視覚障害者の方々楽しんで頂くことだけにとどまらず、一般来場観戦者やサポーターの障害に対する理解促進の機会充実を目指した。サポーターからの実行委員メンバー募集、体験型啓発ブースの設置など前年度からの改善を活かした発展的な取組みが功を奏していた。企画運営に携わった学生達も視覚障害者に対する自身の誤解や誤認識に気づき、それを見直す機会となっていた。

## 今後の課題、展望

この輪をさらに広げていくためには、視覚障害者における「情報障害」の壁を乗り越えなければならない。特別支援学校や各種支援団体などとのパートナーシップを広げていくことを見据えている。